



校訓
自律・敬愛・剛健

発行編集
県立川内高等学校
川内高等学校可愛山同窓会
所在地 〒895-0061
鹿児島県薩摩川内市御陵下町 6-3
同窓会事務局
電話 (0996) 20-2031
学 校
電話 (0996) 23-7274

可愛山同窓会報



生頼範義 (おおらいのりよし=昭和10年11月生): 鹿児島県立川内高等学校昭和29年3月卒業
昭和29年東京芸術大学に進学、鹿児島県出身者専用の学生会寮「同学舎」で生活: 知己の拡大となる。
1980年【スター・ウォーズ/帝国の逆襲】のポスター、1984年東宝映画ゴジラのリメイクポスターなど映画や書籍カバーの装画等その
作品は多岐にわたり、画家とイラストレーターの両面を兼ね備える。2015年10月27日 宮崎県の病院で逝去 79歳
表紙画「我々の所産」1997年作品(額装200号)可愛山同窓会所蔵: みやざきアートセンターに貸出中
2017年5月13日~7月2日: 大分市美術館展示 2018年1月~東京(上野の森美術館)展示予定

川内高校は前身である旧制川内中
学・川内高女からの歴史を伝えて、
今年百二十周年を迎えます。卒業生
が4万人を数える長い歴史のひとつ
の節目であり、学校・PTA・同窓
会の協力体制のもとで、秋の記念式
典・講演会・記念事業を計画してお
ります。事業の一環としてメモリア
ルホールの設置(生頼範義画伯をは
じめ寄贈された多くの絵画を保管す
るために同窓会館内に計画)、各種
運動用具の充実、奨学金制度の充実
などがあり、ご周知の通り募金活動
に務めているところでです。



故郷の誇りを伝える同窓会に
可愛山同窓会会長 中保 知大
(川高20期)

すなわち日本の歴史はこの川内
(古くは千台)の地に始まったと
言っても過言ではありません。今
上天皇は皇太子時代の昭和37年に
美智子妃殿下と共に可愛山陵をは
じめ神代三山陵を参拝されていま
す。また、昭和47年の鹿児島・太
陽国体では昭和天皇・香淳皇后が
参拝されています。川内高校が在
る御陵下町はまさに御陵の下なの
です。神話は教科書では教えませ
んので、この秀でた地域遺産を知
らぬまま故郷を離れ、或いは地元
にいても理解しないままの人が多
いように感じます。

また、川内高校の敷地は奈良時
代の薩摩国府・薩摩国分寺跡の一
部であり、万葉歌人・大伴家持が
国司として1年間赴任した場所だ
す(ちなみに大隅国府は現在の霧
島市・国分)。時代が下って、天
下統一を目前にした太閤・豊臣秀
吉と島津義久公との和睦の舞台と
なった泰平寺は秀吉遠征の最南限
として特筆すべき場所です。我々
の故郷にはこうした歴史遺産がい
くつもあります。これらを共有の
誇りとして故郷とさらに強くつな
がっていただけるように期待いた
します。

東京・関西・福岡・熊本・宮崎・
阿久根・鹿児島可愛山同窓会と
連携し、故郷の歴史遺産・文化遺
産に光を当てながら『楽しく集う
誇り高い同窓会』にしていきたい
と思います。今後ともご支援並び
にご鞭撻をよろしくお願い致しま
す。

祝 創立百二十周年

「川内高校の更なる発展をめざす」

校長 藤崎 恭一



春風と共に、いよいよ創立百二十周年の年を迎えることになりました。

昨年から川内高校生徒会は創立百二十周年記念生徒会スローガンを検討してきました。在校生全員のアンケートをもとに、検討を重ね、創立百二十周年記念生徒会スローガンを

不屈 向上 実現
〜未来 向っ 礎築

我等川高生

と決定し、正門横に看板を掲示しました。在学中に周年記念行事を迎える生徒達の心意気が伝わってきます。

可愛山同窓会会員の皆様には、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。県内普通科高校で2番目に創立された伝統ある高校の校長として3年目を迎え、更なる躍進を期しているところであります。川内高校の更なる発展のために、全力で職責を果たしたい所存でございます。どうぞ本年度も引き続きよろしくお願いたします。

さて、本校は創立百二十周年という節目を迎え、今年度の教育活動スローガンを「躍動 文武両道取組日本一」としました。一昨年・昨年と進学・部活動での躍進・活躍が顕著となり、生徒への指導体制も完成度を高め、今年はずべての教育活動が「躍動」する年になる予感がいたします。「躍動」はそれを実現したいという決意を込めたスローガンです。具体的な重点補強項目は、次の4点です。①本校生徒が高校入学から卒業まで学力養成のための本校独自の教科指導

手順をまとめた教科指導ストーリーの実践、②部活動の更なる活発化、③清掃・挨拶の更なる徹底による人格の基盤づくり、④高度情報化社会に柔軟に対応できる人材としての礎作りをめざす総合的な学習「可愛山プロジェクト」の推進(ディベート、小論文、課題研究など)。

また、昨年度完成した5階建て生徒棟に続き、今年も施設・設備の充実に取り組んでいます。現在4階建ての管理棟の工事(12月完成予定)が進行中です。管理棟には、事務室、校長室、会議室、理科などの教科準備室、図書室等が配置されます。同窓生の皆様の青春時代の数々の思い出が刻まれている3年理系クラス等の教室があつた旧管理棟は平成30年度に解体されるという寂しさが、唯一の気がかりではございますが、どうか新管理棟建設を温かく見守っていただきたいと思います。

平成28年度の教育活動の概要

について報告いたします。本年3月の卒業生は26名の7クラスと例年より一クラス少ない状況ではありましたが、「自立・敬愛・剛健」の校訓のもと「川高魂」を大いに発揮しました。進学では国立大学合格者が136名(大阪大学1名、九州大学3名、神戸大学2名等を含め、現役生が122名、過年度卒生は14名)、私立大学も有名私大をはじめ多数の合格者を出し、この5年間では最高の結果となりました。また、部活動におきましても、全国・九州大会に漕艇部、陸上部、放送部(NHK杯ではラジオドラマ創作部門で全国2位)、書道部、水泳部、バスケットが出場を果たしました。

創立百二十周年記念関連行事では先輩方のお力添えをいただき、名門川内高校に相応しい記念事業を推進したいと決意しております。どうかよろしくお願いたします。

終わりに、可愛山同窓会の益々の発展と会員の皆様方の御多幸を祈念いたし新年度のご挨拶いたします。

掲 示 板

旧制川内中学から七高を経て東京帝大に入り、文学の世界で異彩を放った故萬造寺彌先生(川中4期)の遺稿を川内高校文芸部も加わりこの4月に長編小説「緑の国へ」が刊行されました。これを記念して「歌人・萬造寺彌シンポジウム」が開催されることになりました。

1 日 時 平成29年7月9日(日曜日) 13:30~16:00
2 場 所 いちき串木野市市民文化センター
3 入場料 無料

お問合わせは川口勝則 携帯090-4982-0454
携帯メール: nf-k.kawaguchi@docomo.ne.jp まで



創立百二十周年記念講演
 演題「弁護士として生きる」
 日本弁護士連合会平成28年度副会長 山口健一(川高20期)



ただいま藤崎校長先生からご紹介頂きました山口健一です。

▼私の生い立ち

地元の亀山小学校から川内北中学校を経てこの川内高校を昭和43年に卒業しました。

中学校ではキノクラブでキノコの観察に明け暮れ、川内高校では弓道部に属していました。当時、弓道部には道場はなく、現在の裁判所の近くの道場に足を運び、そこで社会人と一緒に練習に励みました。そこでは、社会人の方々に礼儀作法も教えて頂きました。

18歳で大阪へ、もう50年近くなるのに川内は何時までふるさとです。小学校、中学校、高校の友達と会っているとはつとまらず、川内にいる小学校から高校までの友人達と今でも交流が続いています。

私はどんな高校生だったのか。3年の冬までクラブ活動に参加し、定期テスト前にはそれなりに勉強しましたが、成績は今ひとつで一夜漬けみたいなこともしていました。友人達からはもっと勉強しろと言われたこともありまし

昨夜は、高校の友人達が集まって酒を酌み交わしました。高校生活の3年間で一生つきあう友人がたくさん出てきました。すぐにあの頃に戻り、何の私心もなく付き合いが出来るのは本当に有り難いものです。今日はその何人かがこの会場に来ています。そんな友人の前で話すのは何となく恥ずかしい気がしています。

▼弁護士を目指したのは

弁護士になろうと考えたのは、高校時代。誰にも指図されず、自分の力だけで仕事が出来ることが魅力を感じたからです。

その後、大学に入り世の中の役に立ちたい、社会的に弱い人の立場に立つた弁護士になりたいと思うようになりました。

日本国憲法を学んだことも大きな要因ですが、なかでも憲法が定める戦争の放棄、幸福追求の権利、法の下の平等が私に大きな影響を与えました。

戦争の放棄とは、先のアジア・太平洋戦争を反省し、2度と戦争をしないと誓ったことです。憲法前文には「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることをなげきないようにすることを決意し」とあります。また憲法13条には「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とする。」とあり、また14条には「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と定めら

れています。私は人が差別されず、誰でも平等に扱われる世の中が理想だと思えます。誰でも自由に幸福になる権利があります。そのために弁護士という仕事を通じて、社会に役立ちたいと思ったのです。

▼弁護士の仕事

大きく分けると民事事件と刑事事件があります。

民事事件とは、人と人との争いで、例えばお金を貸したのに返してくれないとか、交通事故に遭ったが、きちんと賠償されないとか、医療過誤といつて、施術がうまくいかず後遺症が残った等といった事例です。

皆さんがテレビで見るとドラマの多くは、刑事事件です。何らかの犯罪を犯したという疑いで、警察に逮捕されたり、裁判にかけられたりする。これが刑事事件です。この逮捕されたり裁判にかけられたりした人を弁護するのが弁護士の役割です。

警察に捕まると、警察を通じて弁護士を呼んで貰える制度になっています。知り合いの弁護士がいればその人を、知り合いがいなければ弁護士会が法テラスというところに電話して弁護士に来て貰うことになります。

実際には弁護士が警察に会いに行つて、逮捕された理由を聞くのですが、やつていないという人もいれば、やつたという人もいます。

なぜ悪いことをした人を弁護するのかといわれますが、裁判が終わるまでは、「無罪推定の原則」があります。裁判が終わつてみないと本当に有罪かどうか判らないということです。

やつていないという人は、やつていないと弁護する、やつたという人は、なぜそんな事件を起こしたのか、その言い分をよく聞く必要があります。

誰も味方がいないから弁護士は唯一の味方なのです。

弁護士は、検察官が指摘する悪い面ばかりでなく、被告人の生い立ちやなぜこんな事件を起こしてしまったのかを裁判所に十分かつてもらうように努めます。刑事事件の場合、2度とその人が事件を起こさないようにその人の環境を整えることが仕事です。事件を起こしたことで職を失ったり、離婚することになったり、家族がばらばらになったりすることも多くあります。そんな時に今後生きていく為の環境を整えたりするのも弁護士の仕事です。

志布志事件

今でも無実の人が逮捕されて、長い間警察に捕まっていたままで裁判にかけられることがあります。

今から14年前の2003年に鹿児島県曾於郡志布志町(現在の志布志)で起きた選挙違反事件です。志布志事件と言います。

2003年の鹿児島県議会選挙において7世帯しかない集落である県議会議員の陣営が、住民に焼酎や現金を配つたとして逮捕され、15名が裁判にかけられました。この人達はほとんどが君たちのお父さんやおじいちゃん位の年齢で、集落のほとんどの方が逮捕されました。逮捕された15名のうち何人も長時間の脅迫的な取り調べに耐えられず、やつてもいい事件をやつたと自白しました。

朝の8時から夜の10時まで取り調べが行われるのですよ。「容疑を認めなければ、おまえの家族も全員まとめて逮捕してやる。もし認めたら、今

日にでも帰してやる。」と様々な脅迫文言を浴びせられたのです。しかし、裁判になり全員がそんなことはやつていないと否認し、2007年に全員無罪の判決が出されました。裁判所の判決は、そもそもそんな事件はなかったと認定。逮捕されてから無罪になるまで実に4年もかかりました。裁判中に亡くなられた人もいました。

鹿児島県弁護士会の弁護士の多くがこの事件に、費用は貰わず、手弁当で関与して奮闘しました。検察官はこの結果を認めて、無罪が確定したのです。

何でこんな事件が起こってしまったのか。警察の幹部がこの選挙区の特定の候補者を応援するために、選挙違反事件を仕組んだのではないかと言われていますが、真相は明らかになっていません。その後住民達は国に損害賠償の裁判を起こし、認められています。

和歌山カレー事件

マスコミを販わす事件もあります。1998年(平成10年)に起きた和歌山カレー事件を私は担当しました。君たちが生まれたか、未だ生まれていない頃です。

夏祭りに出されたカレーに猛毒のヒ素が入つていて、それを食べて4人が亡くなり、70人あまりの人がヒ素中毒に陥つたという事件です。被害者は夏祭りを出したカレーを食っただけ、何の落ち度もない、この事件の犯人は許せない、誰もが思いました。

この事件が起こつてしばらくして、犯人は近所に住む林真須美ではないかと報道され、その後、テレビのワイドショーは犯人と決めつけて報道を繰り返していましたが、日本中のほとんどが、未だ逮捕されていないのに犯人は林真須美だと信じ込んでいました。

本人は、私はやつていないと主張していました。この事件は、ヒ素を入れた現場を誰も見ていない、指紋もない、

客観的な証拠は何もない、というなかで私達が刑事弁護を担当することになりました。

逮捕されてからは、本人は事件について何も言いませんでした。(黙否といいます)。林真須美が犯人に違いない、やつではないという犯人もけしからん、こんな凶悪犯人を弁護し、しかも黙らせて何も言わせない弁護士はもうと悪い、とこんな怒りが弁護士に向けられました。弁護をやめる、もし林真須美が無罪になったら弁護団は皆殺しにする、家に火をつけてやる、という脅迫文が自宅や事務所に来るようになり、マスコミからも非難されました。

刑事訴訟法という法律には、自己の意思に反して供述を強要されないという黙否権があります。

弁護士は金儲けのためには何でもやるのかとまで言われましたが、この事件では弁護士費用はほとんどもらっていません。

この事件は直接的な証拠は何もない、直接見ていた人もいない、状況がこの人が怪しいということの積み重ねだけです。そんな中で有罪にするのは、よほど慎重にならねばなりません。弁護士はその証拠の一つ一つを吟味する役割があります。誰かが弁護しないと、ひょっとして犯人ではないかもしれません。この事件は死刑が無罪かが問われる事件です。もし、やつではないのに死刑にするのと取り返しのつかないことになりま。どんなに非難されようと脅迫されようとこれは弁護士の義務だと思っていました。

結果は死刑、最高裁まで争いましたが死刑は覆らず、今はもう一度裁判のやり直しを請求中(再審といえます)です。私は、今でも他に犯人がいるのではと思っています。

死刑制度について

これまでも、いったん死刑の判決が出て、その後、無罪になった人が何人もいます。中には、最高裁で確定し、それから再審といって、もう一度裁判のやり直しをして無罪になった人もいます。

これは現代社会の授業でも習うと思うので、是非染しみにしていただく。最高裁で確定するといつでも死刑の執行ができるのですが、よくぞ死刑の執行をしなかったものだと思います。

そもそも死刑制度は必要なのかという議論が始まっています。後で話をしますが、日本の全部の弁護士が入っている日本弁護士連合会(日弁連)という弁護士の団体は、死刑制度を廃止することを目指しています。世界でもほとんどの国で死刑制度は廃止されています。お隣の韓国でも死刑は執行されていません。日弁連が反対するのは、無実の人が裁判で誤って有罪になり、死刑が執行された後に実は無罪だった、ごめんなさいでは済まされないからです。人間がすることだから絶対に誤りがないとは言えないのです。

豊田商事事件

民事事件として、30年前に私が担当した豊田商事事件についてお話しします。

これは、昭和54年ぐらいから昭和60年までの間、全国で約5万人のあなたが詐欺にあい、2,000億円以上のお金をだまし取られた事件です。5万人というと、この薩摩川内市の人口が約10万人ですから市民の半分ぐらゐの人が被害にあつたということになります。しかも被害者の60%以上が60歳以上のお年寄りでした。その手口はどんなものだったかをお話しします。

豊田商事のセールスマンが一人暮らしのお年寄りや昼間お年寄りしかいないような家庭を狙い撃ちにして、金の

購入を勧める。これから金の値打ちが上がる。銀行に預金するより金を買ってあげば倒産することなくはるかに得をする。しかも、もつといのはその買った金を豊田商事に預けてくれれば、1年間に10%の利息を払うので、金を買ってそれを預けてほしいと言ひ、お年寄りに金の預かり証、当時ファミリイ証券と呼んでいたものの紙切れを2,000億円以上も売りつけたのです。

月給1,000万円という従業員もいました。その詐欺会社は昭和60年に倒産したのですが、もちろん金など返ってくるはずはなく、全国で多くのお年寄りが自殺しました。このお金は老後のささやかな生活の資金であり、お葬式のお金として少しずつ蓄えていたものでした。私達は従業員の人達に騙し取ったお金を支払われた給料を被害者に返せと裁判を起しました。そしてこの会社の幹部を詐欺で告訴しました。この時、全国には約12,000人の弁護士がいましたが、そのうちの1割近く当たる約1,000人が参加しました。私はその全国弁護団の事務局長としてこの仕事にかかりました。

ハンセン病国賠訴訟

私たちが弁護士は、法律を使って仕事をしています。だから法律に書いてないことや法律と違うことをして人を助けたり、役に立つたりすることはできないと一般的な考えられています。本当にそうなのでしょか。

法律とは何なのでしょう。人と人とが生きていく上で、みんなを守るべき社会のルールという一面、一方で「国がその国の国民を治めるための決めの道具」という側面もあります。なかには法律が人を不幸にしてしまうことがあります。その典型的な事件が、ハンセン病をめぐる国の施策です。この事に少し触れてみたいと思ひます。

購入を勧める。これから金の値打ちが上がる。銀行に預金するより金を買ってあげば倒産することなくはるかに得をする。しかも、もつといのはその買った金を豊田商事に預けてくれれば、1年間に10%の利息を払うので、金を買ってそれを預けてほしいと言ひ、お年寄りに金の預かり証、当時ファミリイ証券と呼んでいたものの紙切れを2,000億円以上も売りつけたのです。

ハンセン病とは皮膚の表面に発疹ができた、触った感じや、痛み、熱い、冷たいなどの感触が鈍くなる病気です。ひどくなると手足が曲がるなどの症状が出ます。昔は「らい病」と呼ばれていました。

1907年、らい病に関する法律が制定され、患者の強制隔離が行われました。伝染する、連伝するといわれ、家族の中にそんな患者がいると納屋等に入れられて、家族はひた隠しにしていました。そんな患者がいるとわかると結婚もできず親戚づきあいもしてもらえなかつたのです。国は患者を強制的に収容所に隔離し、家族から引き離しました。家族はそんな患者がいることをひた隠しにし、患者と家族は死ぬまで会うことがありませんでした。また家族もそんな患者の存在をないものとしなかつたら生きてゆけません。患者は隔離された時点で死んだのと同じ状況でした。

数万人が隔離され、約3,000人が強制収容所で亡くなっています。こんなことをしていたのは、世界でもほとんど例がありません。1950年、今から約70年前には伝染もせず、感染もしないことが科学的に証明されました。しかし政府は、この法律を廃止するどころか、1953年、新たに「らい予防法」を制定し、その後も患者の隔離政策が行われました。

離れ小島や山の中といった人里離れた場所に収容所は作られ、収容所では強制労働が強いられ、どこにも出られませんでした。土木作業、炊事洗濯、重症患者の世話等をさせられ、反抗したり逃げ出そうとすると監禁室で監禁されました。また、名前を変えさせられたり、逃げ出さないために入所者同士の結婚は認められませんでした。子供を作らせないための強制的な手術や強制中絶、あるいは生まれた子供を殺すこともありました。その後、1996年にやっと法律は

廃止になりました。しかし、法律は廃止されても世の中の偏見はなくなり、今更どこかに行けと言われても行く所もありません。国はこれまでの法律や政治が間違っていたとは決して認めなかつたし、もちろん賠償も行われませんでした。

そのため、この「らい予防法」は人権侵害であり、憲法違反であるとして、元患者さんたちが熊本地方裁判所に裁判を起しました。2001年5月、熊本地方裁判所は、この法律は明確に憲法違反であり、国は責任をとれという判決を言い渡しました。国はこの判決に対し控訴すると言われていましたが、多くの世論に押されて控訴を断念し、国の責任は確定しました。その結果、国と製薬会社5社は賠償金を支払うと共に患者や家族に謝罪しました。

この救済の裁判に全国の多くの弁護士がかかりました。しかし、今でも2,000人以上の人が収容所で暮らしており、引き続き対策が必要。こうした事例でみられるように法律や国の政治がうまく機能せず、その結果、被害にあつた人たちの救済に当たることがあります。

▼終わりに

私達弁護士の生きがいは、法律を使って人を助けられること、法律が間違つていればそれを変えること、裁判所が間違つていればそれに立ち向かうことができることです。その結果、喜んでもらえるのが何よりもうれしいと思ひます。

今、全国に約39,000名、鹿児島県には約2,000名、大阪では約4,500名の弁護士が仕事をしています。私はこの3月まで日弁連で副会長という立場にありました。弁護士は弁護士会に登録しないと弁護士という仕事をできない仕組みになっています。弁護士会は人権侵害に

関わるような事柄について独自に調査したり、年に何回も意見書を出したり、声明を出したりしています。

実際に日弁連が求めてきたことがたくさん実現しており、法律の改正や新しい法律を国に作らせたことなども数多くあります。

弁護士になるにはこれまでは、大学の法学部に行って司法試験を受けるというのが一般的なコースでした。2004年からロースクール制といって、大学を卒業して2〜3年間、ロースクールという大学院のような所に行って卒業し、試験を受けて弁護士や裁判官、検察官になるという制度に変わりました。予備試験という受ける制度もあります。私たちが頃は、1年間に司法試験に合格する人は500名前後でしたが、今は1,500名になってしまいました。ぜひどんどん挑戦してほしいと思っています。

最後に、これから君たちが生きていく上でいろんな経験をするでしょう。その中でも高校で勉強するような基本的な知識はどんな職業に就こうとも大事なものです。弁護士の立場から言うと、例えば契約書、物を買ったり、家を借りたり、会社で就職したりとどんな場合でも契約が大切になります。法律は知らなくてもいいです。しかし、きちんと日本語がわからないと話になりません。しっかりと頑張ってください。

母校の創立記念日にお話をする機会を与えていただき、川内高校の卒業生として大変光栄に思っています。本日はありがとうございました。

講話を聞いて

3年 中川 美里

私たちは、18歳になるといよいよ参政権を手に入れます。山口先輩の話を聞く上で、法に携わって社会で生きていくことはどういふことなのかを考えていました。私は先輩と同じように、進学して法を学びたいと思っています。きっかけは中学校の公民の授業が面白かったからなのですが、本日の話を聞いて、社会的に弱い立場の人々を助けることができるとは本当に良いことだと思いました。漠然とでも、そういう理由で弁護士を目指そうとした先輩の志に尊敬の念を抱きました。先輩が弁護士としての苦悩を語る中で、「悪い人を弁護する」と認知されていることでした。確かに世の中にはたくさん人の事件があつて、明らかに残酷な人間がいて、そういう人を弁護するのは、他のたぐいさんの人の気持ちに反する行為に見えろと思います。それでも先輩が弁護士として守り抜いたのは、一人一人の人權でした。憲法に倣つてというよりは、先輩自身が人權を大尊重に思っているからで、非難を受けても仕事を全うしようとする先輩の姿に強さを感じました。また、たくさん人の事件に関わる中で、ハンセン病に関しては法律を敵に回したことに驚きました。私は、弁護士は法律に律儀に従つて行動するものだとはかき思っていました。しかし、人權を守るためには自国の法律でさえ違反と見定めようという弁護士が、一人一人を守っていくことにつながることを思い知らされました。最後に、私たちがのメッセージとして、「憲法や法律は書いてあることが理解できないことが一番悲しいことだ」と言われました。更に、「だから勉強は大切なんだ。」と先輩は念を押されました。私たちはもう3年生です。焦つて、つい進学することだけを見ていたような気がします。私は先輩が語つて下さったことを思い出し、勉強することの真意を改めて考え直し、学んだことを活かして社会で役立てる人間になりたいと思います。

輝け 大学一年生



長崎大学薬学部 岩元 史織

この春、長崎大学薬学部薬科学科に合格することができました。合格できたのは両親・部活・そして川内高校の先生方や毎日一緒に勉強に励んだ同級生のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱい

です。川内高校では文武両道が掲げられているので勉強にも部活動のソフトテニスにも一生懸命取り組みむことができた。部活を引退するまでは、



高崎経済大学経済学部 税所 優

この春、高崎経済大学経済学部合格しました。合格できたのは両親・先生方・友人。そして私を支えて下さったすべての方々のおかげです。また、この1年間川内高奨学生として奨学金を戴きました。可愛山同窓会の方々に、奨学生を代表し、この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

私は志望校がなかなか決まらず、漠然と勉強しているだけの日々を過ごしていました。

部活に打ち込んでいましたが、次の日の予習と宿題は欠かさず取り組んできました。川内高校に入学する前から宿題が多いことを聞いてから、本当に大変きつかったのですが、それらすべてが自分の力になっていくと今は実感しています。また部活に全力で取り組める環境が用意されていたため、毎日が忙しいけれど充実していると感じました。引退後はなかなか勉強に身が入らなくなりました。そこで夏休みに実施された勉強合宿に参加しました。一日中、勉強することはきついことでしたが一緒に参加した仲間と励まし合うことにより乗り越えられました。またそこでの規則正しい生活リズムが整ってきたと思います。土日は毎

週、学校へ行き勉強をしました。私以外にも学校で勉強をしている仲間が多くいて私も頑張らなきゃと思わされることと勉強で集中が切れそうになりましたが、友人たちと休み時間にしたが何気ない会話や先生方の気持ちのこもった授業、たまに廊下ですれちがう部活の後輩の明るい挨拶にいつも元気づけられました。また川内高奨学金を戴いていたことにより自覚を持って日々勉強に取り組むことができました。川内高校の素晴らしい先生方や友人たち、可愛山同窓会の方々のおかげで私は自分の進路を決めることができました。

また、受験生にとって貴重な夏休みは、応援団の練習に打ち込んで勉強と上手に両立が出来ませんでした。私は遅れを取り戻そうと休日も学校に行き授業を受けたり、クラスメイトと共に教室で自習に取り組みんだりしました。私のクラスは、静と動の切り替えがしつかり出来て、休日も多くの人が自習をしに来るようなクラスでした。いつも勉強に集中できる環境を作ってくれ、そこで改めて受験は団体戦なんだと感じました。クラスみんなには本当に感謝しています。

また、私の大学合格において先生方の支えも大きなものでした。進路について悩んでいる時は、親身になって相談に乗って下さり、勉強で分からないところを質問した時は丁寧に教えて頂いたり、先生方はいつも私たちのことを一番に考えて下さっていました。朝課外の前や放課後、休日に至るまで授業をして下さったり、質問に丁寧に答えて頂いたりしました。先生方の熱い指導のおかげで、自分も頑張ろうという気持ちになり、受験を乗り切り、合格を手にする事が出来ました。本当にありがとうございます。川内高校での3年間は学業だけでなく、人間としても大きく成長できた期間でした。この3年間を無駄にしないように、大学でも自分の目標に向かって日々努力をしていきたいと思ひます。



第69回 卒業式

六十八歳の卒業式

今村 裕 (川高19期)

川内高等学校第69回卒業式、平成29年3月1日に招待されるにあたり、昨年の春より世話役7名、クラス幹事30数名で、数回にわたり打ち合わせを行ない、東京、鹿児島、鹿島の19期会の皆さんと話し合い、卒業式前日に50周年記念同窓会を行い、翌日、卒業式に出席させて頂くことになりました。

各クラス幹事に、より住所をしっかりと確認して頂き、448名の同期生に同窓会及び卒業式招待の案内をさせて頂いた次第でした。それに対して喜びの電話やお葉書を頂戴し、卒業後50年の永い人生の一コマを聞き、私共は感慨深い思いで準備をさせて頂きました。

いよいよ、2月28日同窓会当日、世話役、クラス幹事で会場準備を行っている、県内在住の方をはじめ、関東方面や県外在住の同期生が次々と来場し、クラス毎に受付を行い、顔と名前を何回も確認しながら、名札を渡す一コマ。また自分の卒業時のクラスをど忘れしている人それぞれの思いが、どんどん沸いてきて、話が尽きることはありませんでした。

会場には、地元のクイーンロール・オーケストラに出演して頂き、皆さんを、懐かしい音

楽で迎え入れました。

19期の恩師である榎田満洲雄先生より祝辞を頂き、同期生3名の尺八の演奏が始まり、50年前に帰り、それぞれのテーブルで懐かしい友と語り、時がたつのも忘れ、時間を延長し、最後にオーケストラで校歌を皆で歌い閉会しました。その後クラスごとに2次会へと向かった次第でした。

同窓会は118名出席で、卒業式は101名出席予定で、3月1日朝9時には、可愛山同窓会館に集合し、後輩達から胸章をつけてもらい、後輩達先導で卒業式会場へ。寒々とした会場に、進行役の先生の声が響き、藤崎恭一校長先生からのクラス代表者への卒業証書授与。卒業生、在校生全員の礼儀正しさをみて、清々しい思いに浸ることでした、そして式も終了し、最後に19期の有志一同からの母校への寄付を差上げた次第です。

50周年記念として卒業式に出席し、母校への思い、同期生との交流等大きな思いを得ました。ありがとうございます。

最後になりますが、お世話頂いた先生方、同窓会事務局長、そして生徒の皆様には心から感謝いたします。



25年目・50年目の青春

追憶

西村真理（川高19期）

早春の候、川内高校卒業後50周年同窓会、第69回卒業式に参列致しました。

昨年夏クラス幹事を自薦で引き受け、数回の幹事会に出席することから始まりました。川内を離れて50年。節目の同窓会には出席していたものの、卒業式の招待があることは初めて知りました。

2月28日の同窓会は、午後6時開始にも拘わらず、会場には逸る気持を押さえ切れない同窓生達が、次々と訪れ、受付の私はドキドキしながら開会を待ちました。

50年という月日は、皆一様に姿を変え、名札を見てもさっぱりわからず・・・。

会の進行と共に、すっかり高校時代に戻り、在学中ひと言もしゃべれなかった男子同窓生と、肩をたたき合って大笑い。一足跳びにあの頃に戻れる不思議な空間となりました。薄目で見ると、皆の顔は17才のままでした。

翌3月1日、第69回卒業式は、昨夜と打って変わってフォーマ

ルに身を包み、私達50年卒業生は、緊張の面もちで会場へ。

創立百二十年を迎える歴史の重さに、身が引き締まる思いと懐かしさで、感動を押しさえられませんでした。

思えば、3年間の高校生活は、思春期の真っ只中、多感過ぎる程多感でした。

一番印象深いのは、東京への修学旅行で、同級生の面会に来た親戚のお兄さんの洗練された容姿に、田舎者の私は目が釘づけになり、「絶対、東京の大学に行こう!」と決心したものでした。

今回の同窓会卒業式列席は、自分を見つめ直し、川内への回帰の、良い機会でした。人生80年とすれば、残り12年。残り少なくなった余生を、川内と係わって行けたらと思うようになりました。

今、「祭りのあと」の少し寂しさを感じながら、皆様との再会を楽しみにしています。



平成 29 年 3 月 卒業生進路別合格状況

鹿児島県立川内高等学校

国立大学	現	過	計
富山		1	1
静岡	2		2
愛知教育	1		1
滋賀		1	1
京都教育	1		1
大阪		1	1
神奈川	2		2
奈良教育	1		1
広島	3		3
山口		1	1
九州工業	3		3
福岡教育	6		6
福岡	1		1
佐賀	1		1
長崎	2		2
熊本	4		4
宮崎	4		4
鹿児島	47	6	53
琉球	5		5
国立大学計	84	10	94

公立大学	現	過	計
国際教養	1		1
高崎経済	1		1
横浜国立		1	1
山梨	1		1
都立	1		1
大阪府	1	1	2
兵庫	1		1
神戸	1		1
立川	3		3
福山市	1		1
下関	6	1	7
山口	2		2
高知	1		1
北九州	3		3
福岡女子	1		1
長崎	4		4
熊本	3		3
宮崎	2	1	3
宮崎	3		3
名	2		2
公立大学計	38	4	42
国公立大計	122	14	136

国公立短大	現	過	計
大分	1		1
鹿児島	15		15
国公立短大計	16	0	16

私立短大	現	過	計
精華女子	1		1
福岡女子	1		1
鹿児島純心女子	10		10
鹿児島女子	11	1	12
私立短大計	23	1	24

私立大学	現	過	計
北海道情報	1		1
国際医療福祉	5		5
青山学		1	1
上智		1	1
大東文化	1		1
大拓殖	2		2
中央		1	1
帝京	1		1
東海	5		5
二松学舎		3	3
日本社会事業	1		1
明治		1	1
神奈川	1		1
諏訪東京理科	1		1
日本福祉	1		1
京都女子	5		5
京都橘	1		1
佛教	1		1
立命館		6	6
関西		3	3
近畿	1	5	6
大阪人間科学	1		1
神戸学院		1	1
岡山理	1		1
広島文化学園	1		1
安田女子	1		1
広島国際		1	1
広島都市学	2		2
九州共立	6		6
九州産	12		12
九州女	3		3
久留米	2		2
久留米工業	1		1
西南学	9		9
第一薬科	2		2
筑紫女学	3		3
西日本工	1		1
福岡	12	4	16
福岡工業	4		4
九州栄養福祉	3		3
長崎総合科学	1		1
長崎国際	2		2
熊本学	3		3
崇城	9	5	14
九州看護福祉	7		7
熊本保健科学	6		6
立命館ア	2		2
南九州	2		2
九州保健福祉	2		2
鹿児島国際	28	4	32
鹿児島純心女子	20		20
志学館	9		9
第一工業	13		13
私立大学計	194	37	231

準大学校	現	過	計
水産大学校	1		1
防衛医科大学校		1	1
九州聴能大学校	3		3
準大学校計	4	1	5

準短大校	現	過	計
川内職能短大校	14		14
熊本県立技術	1		1
準短大校計	15	0	15

専修・各種学校等	現
市立函館病院高等看護学院	1
舞鶴医療センター附属看護学校	1
岩国医療センター附属看護学校	1
都城医療センター附属看護学校	2
鹿児島医療センター附属看護学校	7
函館看護専門学校	1
済生会川口看護専門学校	1
大阪警察病院看護専門学校	1
大阪病院協会看護専門学校	1
関西医科大学附属看護専門学校	1
清恵会医療専門学校	1
久木田学園看護専門学校	1
鹿児島中央看護専門学校	2
鹿児島看護専門学校	1
タラ看護専門学校	2
首都医校専門学校	1
福岡医健専門学校	1
柳川リハビリテーション学院	1
鹿児島医療技術専門学校	9
鹿児島医療福祉専門学校	1
神村学園専修学校	3
今村学園ライセンスアカデミー	1
鹿児島医療工学専門学校	1
藤川学	2
福岡リゾート&スポーツ専門学校	1
大阪ベビー動物看護専門学校	1
KCS鹿児島情報専門学校	1
中央法科カレッジ鹿児島	1
鹿児島公務員専修学校	1
鹿児島県立宮之城高等技術専門学校	1
福岡キャナリー製菓調理専門学校	1
International College in Japan	1
トヨタ神戸自動車大学校	1
国際航空専門学校	1
中日本航空専門学校	2
ベルエポック美容専門学校	1
横浜市立横浜商業高校別科(美容科)	1
専修・各種学校等計	58

就職等	現
自衛隊	5
薩摩川内市市役所	1
薩摩川内市ゆつたり館	1
就職等計	7

進路指導部だより

進路指導主任

伊地知 真

私が高校に通っていた頃の進路指導とは、まさに出口指導であった。現在の高校生は違う。自分のほしい情報はすぐに「スマホ」で探し、常に友達と「アプリ」で繋がっているため、明日の予習の内容も親を通さずともすぐに友達に尋ねられる。月々980円で有名予備校講師の授業を自分の部屋で受講でき、暗記物もAIを駆使したアプリで記憶に残る。このような社会で生き抜く子どもたちはユビキタス社会の申し子である。

時代とともに「変わるもの」がある一方で、「変わらないもの」も多い。現在、川内高校の真新しい5階校舎の各教室には、進路関連の情報誌や各先生方が研究された個別学力試験の「入試問題研究」の冊子が並ぶ。休み時間では、毎時間の小テストの勉強に追われながら、寸暇を惜しんで明日の予習や翌週の週末課題を行う。放課後には、小テストの追試に追われる生徒もいれば、教科担任がまるで学習塾であるかのように、個人添削の列ができる。自分の目標とする大学に一步でも近づこうと努力する川高生の姿は、社会の変化とともに変わることなく今でも川内高校に脈々と受け継がれている。

可愛山同窓会

各地区の同窓会の取り組みを取材形式でお知らせします。

東京可愛山同窓会

第51回総会は平成28年6月4日(土)霞が関の東海大学校友会館にご来賓6名を含め、総勢159名の出席のもと開催されました。

昨年は、設立50周年記念大会の次の年ということで、参加人数が減るのではないかと心配していましたが、会員の皆様のご協力により、特に若い期の出席者が増えて例年並みの参加をいただきました。

3年前に発足した踊りの同好会「川内高校気張いやんせ連」が若い期の参加に大いに貢献しておりまして今年も5月21日(日)に東京渋谷で開催される「第20回渋谷・かごしまおはら祭り」に70数名の参加を予定しております。

さらに昨年より「がらつば塾」「ジュニアクラブ」「ゴルフ同好会」「カラオケ同好会」「トレッキング」等、交流の幅が広がる試みをしているところです。

今後も同窓会の円滑な運営・継続・発展に会員の皆様のご意見を反映させていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

なお、今年の総会は6月3日(土)正午より昨年と同じ東海大学校友会館にて開催いたします。

関西可愛山同窓会

平成28年の総会は、6月12日(日)11時～15時に開催しました。

参加者は来賓を含めて115名(事務局で把握している会員数は1,150名)でした。

講演会は、昭和44年卒21期の有馬洋一氏(当会の副幹事長)に、「年配者の免許更新と安全運転について」の演題でパワーポイントを使って講演してもらい、皆さんの強い関心と理解を深めました。

昨年取り組んだ

新規参加者の増加対策

- ① 学年幹事による案内ハガキへのコメント書き込み
- ② 特別な期への封書案内

還暦を過ぎた60～65歳、21～26期の関西在住会員に、連絡先を記入してある同期生の名簿を同封して、封書による案内状を送付した。

成果

参加者のうち初参加の方の合計が、27年の10名から22名へと増えました。封書案内した特別な期の出席者数が、27年の14名から32名へと大幅に増えました。

今年の新たな取り組み

- ① 講演会に落語口演
- プロの落語家：桂佐ん吉さんに、落語の口演を依頼する。

- ② 学生を無料招待
- 昨年までは会費を割り引いて徴収していた学生会員を、全員無料招待する。
- ③ 出身中学をお互いに知り合う
- 出席者名簿に出身中学名を入れて、先輩・後輩間の親近感を増すようにする。

今年度29年の総会は6月11日(日)11時～12時：桂佐ん吉さんによる落語口演

12時～15時：総会・懇親会
会場：道頓堀ホテル

(電話)06(6213)3444
会費7,000円(ご夫婦出席の場合、お1人は6,000円)

但し学生は無料招待
連絡先幹事長：柚木卓郎
(電話)0745(32)5979
皆さんのご参加を待っています。

福岡可愛山同窓会

大変革時代を同窓の絆で共に生きる

福岡可愛山同窓会会長

新留 育郎(第17期)

日本の総人口は2030年には1億600万人になり、九州・沖縄・北海道・中四国の現人口に匹敵する3100万人が減少する。明治維新以来、幾多の難局を克服しながら世界の範となる発展を遂げてきた日本。それは日本人の勤勉さと優れた頭脳、島国ゆえの開拓者精神による所が大きい。人口増加は国内市場拡大という成長構造社会下にあったからこそ実現できたもの。しかし、いま日本は、急速な少子高齢化と「人口

減少」国内市場縮小」という未曾有の大変革時代に突入し、国も企業も個人もどのように道を切り開き、どのように生きていけばいいのか、生活はどうなるのか頭を悩ませています。

こんな時代だからこそ、視野を広げ見聞を深めることが求められ、気兼ねなく語り合える場が必要だと思います。話に耳を傾け熱い思いを本音で語り合う中でヒントも生まれ元気も湧いてきます。後輩は先輩を遠慮なく頼り、先輩は後輩に先輩風を吹かすことなく、「頼られたら一肌脱ぐ」の真心で応援する。同窓会をそんな場にできればいいなと思っています。

なお、今年の総会は、日曜日開催を変更し、7月1日(土)正午より天神スカイホールで開催いたします。

本部可愛山同窓会

平成28年8月5日(金)
ホテルオトリ18時30分

参加者314名

(会報第51号に掲載済み)

本部同窓会総会は、毎年8月第1金曜日に開催しています。例年300名を超す会員が集まり会場は大賑わいです。6月初旬の同窓会役員会・卒業期別の幹事会で担当期に当たる幹事さんの中から実行委員長を選出して、開催までの2ヶ月間で都合4回の定例会で進捗状況を確認しつつ確実な実施に結びつけます。

本年度は、8月4日(金)を予定日として、実行委員会を構成する22期・27期、以下32期・37期と2と7のつく期の幹事さん達が既にその心

構えております。

本年度は、鹿児島県立川内高校創立百二十周年の節目の年です。これまで同窓会と学校当局との結束を築いてくれた山田島会長と中尾同窓教諭が役目を退くことになり、新たに中俣会長と稲本教諭(高42期)がその重責を担うこととなります。

特段のご支援をよろしくお願ひいたします。

県庁可愛山会

平成28年8月26日(金)
副会長 松元良夫(高校29期)

私たち県庁可愛山会は、川内高校卒の鹿児島県庁職員で構成する同窓会で、160名の会員で構成されています。



昨年は、8月26日(金)に、同窓会本部、川内高校、鹿児島可愛山会、県庁可愛山会OB会から来賓をお迎えし、総会を開催しました。ここ数年、参加者が少なくはなつておりますが、同じ校舎で学んだ先輩後輩入り混じり、楽しく和やかな総会となりました。

本年は川内高校創立百二十年の節目の年となりますので、多くの会員に総会へ出席していただけるよう工夫していきたく考えています。

阿久根ガラツパ会

阿久根ガラツパ会は、昭和33年故中村良彦氏(川中35期)の発案で23名の出席で発会し、昨年で57回を経過しました。

母校は出水中学より24年早く開校したので、当時の北薩地方の重鎮は殆んど川中出身でした。最長老は川中5期の中山熊雄氏で、私は最年少の49期で何年たつても世話係でした。但しいろいろのエピソードが出て、楽しいものでした。学区制の施行でメンバーの中断と老化で中断を考える時期もありましたが、3名になる迄やれと先輩の命令があり、林勝次郎氏(高17期)の加入と女性会員の勧誘のアイデアがあり何とか持ち直し、又校長、同窓会長等の御協力のお陰で、現在常時17〜18名で何とか継続し盛会です。

この会に参加できる喜びと誇りをもって、灯をともし続けたいと思っております。

最後に創立百二十年の歴史を持つ母校の発展を祈念します。

鹿児島可愛山同窓会

平昨年11月5日、2年に一度の同窓会を開催。母校の藤崎校長先生、本部同窓会の中俣会長様ほか数名の来賓をお迎えし、110余名の会となりました。

恒例の同窓生による講和は、青崎氏(高14期、東京薩摩川内会会長)に「夢食の素浪人」と題する、楽しく意義ある卓話を戴き、好評を博しました。続く議事にて、堀之内隆氏(高22期)に新しく副会長に加わつて戴く議案が承認されました。

来賓あいさつの中で、校長先生から在校生による文武両道の活躍ぶりをお聞きし、我々も実に誇らしく思えました。その後の懇親会では、事務局の「盛上げ隊」が企画したじやんけん大会やお楽しみ抽選会等により大いに盛り上がり、座は多様な話題で弾みました。

熊本可愛山同窓会

同窓会行事への参加者は、今回は少し増えたものの、減少傾向は今後も続きそうです。過去の出席者の推移を分析すると「各期の出席者の塊の盛衰が全体の増減に繋がる」ことが見て取れます。会員の皆様、どうか一人でも多く同窓生同志で(連れ立って)ご参加下さい。

昨年、熊本は大きな地震に見舞われ、甚大な被害を受けました。同窓の皆様の中にも被害を受けられた方もいらっしゃるかもしれません。そのような状況で例年通りの総会を開催するか迷いましたが、会長の意向を踏まえ、

「こんな時期だからこそ、開催しよう」となり、昨年11月20日(日)、「青柳」にて開催致しました。総会には、本部より同窓会会長、教頭先生をはじめ4名のご参加いただきました。

熊本可愛山同窓会では、学生の参加費を1,000円とし、熊本の大学、専門学校に在学中の学生の方にも気軽に参加いただけるようにしておりますが、なかなか参加していただけない状況です。親しい人からの口コミ等、参加促進策を検討中です。

2017年度は、会長が岩元さんから小井手に交代され、新体制で活動を開始いたします。そして、総会は例年通り、11月第3日曜日(場所は未定)に開催する予定です。



文武両道

英知を磨く 頑張る部活

バスケットボール部

目標達成のために

仮屋崎 元



バスケットボール部は、現在、3年生18名、2年生12名、1年生18名、計48名で日々の練習に励んでいます。短い時間の中の練習ですが、お互いに切磋琢磨しながら、県大会優勝を目標に努力しています。

バスケットボールは、他の競技に比べて攻守の切り替えが早く、精神的な強さも必要とされる競技です。それに加えて、このチームは体格が周りに劣るので、スリーポイントシュートなどの外からの攻撃や、一

対一などの練習で強化した個人スキルなどによって対処できるように練習を工夫しています。また、他校に比べ体力が劣る面があるので、練習の他に筋力アップに励み、日々走り込みなどで体力向上を目指しています。

僕たちバスケットボール部は、みんなで協力し、互いに声をかけあい、いつも試合で応援をしてくれる仲間とともに戦うことを大事にしています。その結果、先日行われた「南九州4県対抗選手権大会鹿児島県予選」では、念願の優勝を勝ち取ることができました。しかし、これに慢心することなく、さらに、気合いを入れてこれからの練習に部員全員で一丸となつて取り組んでいきます。そして、インターハイ出場をかけた5月の県大会でも、必ず県1位の座をつかみとりたいと思います。



吹奏楽部

豊かなサウンドを目指して

宮脇 愛



吹奏楽部は2年生13名、3年生8名に新1年生を迎えて、橋本先生のご指導のもと日々練習に励んでいます。

楽器を演奏することはとても楽しいものです。それぞれの楽器に魅力があり、私たちはそれを演奏することに喜びを感じています。

普段の練習は個人練習、パート練習、合奏から成り、基礎合奏ではセクシヨンリーダーが中心となつて部員が意見を出し合いながら豊かなサウンドを目指して努力しています。吹奏楽部は曲を吹いているイメージが強いかもしれませんが、実際には基礎練習にける時間の方が長く、腹筋や呼吸のトレーニングも行っています。



普段の練習は一見地味なようですが、それを支えているのは本番で得られる大きな達成感です。学校での演奏でみなさんが楽しんでくれた時、昨年の野球の全校応援で貢献できた時、定期演奏会で会場が盛り上がった時などの、充実感と喜び。音楽の素晴らしさを改めて実感する時です。現在私たちは定期演奏会と夏のコンクールに向けて練習中です。聴いてくださる方が明るくなるような吹奏楽部を目指して、周囲への感謝を忘れず精一杯活動していきます。

空手道部

闘志

宮内 ちひろ



空手道部は、1年生4名、2年生4名、3年生2名の計10名で活動しています。

部員の数は部活動の中でも特に少ないのですが、その分だけ学年を越えた仲の良さやチームワークの強さがあります。部員はほとんどが高校に入ってから空手道を始めた初心者ですが、今までも個人・団体ともに九州大会まで出場を果たしています。日々の練習の中でも九州大会出場を目指して、少人数ではありますがお互いに高め合ひ、自分たちで工夫しながら練習に励んでいます。



空手道は、形・組手の2つの競技があります。形ではそれぞれの部員が自分の弱さと向き合い、一つ一つの動きを意識しながら練習しています。また、結果として、見ている人を圧倒するような美しい形を目指しています。組手では、基本や実践的な練習を組み合わせて、攻めの気持ちや常にもって様々な練習をしています。一戦を終えるたびに少しでも成長できるように、1点先取を大切にしていきます。また、限られた練習時間の中で、一つでも多く勝ち上げられるようにこれからも努力をしていきたいです。普段から協力して下さる保護者や、熱心に指導をして下さる先生方、さらには卒業された先輩方への感謝の気持ちを忘れることなく、これからも日々の練習をより充実したものにしていきたいです。

水泳部

川高スイマーズ

川畑 有希



水泳部は、1年生9名、2年生12名、3年生12名、マネージャー1名の計34名が活動しています。顧問の霜出先生、古野先生、池田先生、外部コーチの村上さんのご指導のもと日々練習に励んでいます。夏は、学校のプールでの水泳練習で、冬は、体幹や筋力トレーニングをしており、それぞれのレベルや種目に合わせ、互いが互いを意識し、競い合える環境で泳いでいます。そして、様々な練習を通して、互いにコミュニケーションをとったり、挨拶をしたりなど、日常生活に大切なことを学びながら、個々に成長しています。

現在私たち水泳部の目標は、県大会優勝です。しかし、そのためには高いハードルがあり、乗り越えるためにもそれ相応の努力が必要で、1日1日の練習を真面目に取り組み、今私たちが、それぞれの力を着実につけてきています。3年生は、あと数ヶ月で引退してしましますが、それまでの間気を抜かず頑張りたいと思います。



30枚近くのパネルや5・6メートル四方の紙に文字を表現する、書道パフォーマンスを、文化祭や、外部からの依頼を受けてやっています。見る人に楽しんでもらえることを目標に、文字の表現や配置、色といった作品構成や揮毫するタイミング、またそれに応じた個々の動き、役割分担などを部員同士、意見を出し合いながら計画を立ててやっています。これらの活動は、川高の先生方、保護者や外部の方など、多くの方々に支えられて成り立っていると、これからは感謝の気持ちを忘れずに、これからも部活動を楽しみながら最高の作品制作に努めたいと思います。

書道部

静と動の部活

宮田 琴美



書道部は、1年生の大部はこれからですが、2年生が16名、3年生14名で、顧問の寺田先生の御指導のもと、新校舎5階の書道室に加えて、講義室も借りながら活動しています。主な活動内容は、県内外の展覧会や揮毫大会に向けての作品制作です。放課後の短い時間を工夫しながら、古典の臨書や創作作品など、部員が丸となつて上位入賞を目指して頑張っています。また、書道といえば、静かにひたすら文字を書き込むイメージがありますが、自分たちの好きな音楽や、流行している音楽にあわせて、30枚近くのパネルや5・6メートル四方の紙に文字を表現する、書道パフォーマンスを、文化祭や、外部からの依頼を受けてやっています。見る人に楽しんでもらえることを目標に、文字の表現や配置、色といった作品構成や揮毫するタイミング、またそれに応じた個々の動き、役割分担などを部員同士、意見を出し合いながら計画を立ててやっています。これらの活動は、川高の先生方、保護者や外部の方など、多くの方々に支えられて成り立っていると、これからは感謝の気持ちを忘れずに、これからも部活動を楽しみながら最高の作品制作に努めたいと思います。

ソフトボール 同好会

合同チーム

森廣 智佳子



ソフトボール同好会は、2年生4名、3年生2名の計6名で、毎週火曜日、金曜日に楽しく活動しています。人数が少ないため、部活ではなく同好会という形ですが、川内商工高校と野田女子高校と合同チームを編成し、昨年地区大会に出場しました。そして、2位という結果を収めました。私たちにとつてとても良い経験となり、目標である『地区大会優勝』への糧となりました。中には兼部をしていたり、ソフトボール初心者である部員もいます。先輩後輩の仲も良く、和気藹々とした同好会です。応援、そして支えて下さっている先生方や保護者の方々への感謝の気持ちを忘れることなく、『地区大会優勝』に向けて相互扶助し、頑張っていこうと思います。私たちと一緒に汗を流しませんか。



第27回 OBゴルフ大会

恒例のOBゴルフ大会(春田俊一大会会長)は、4月29日(昭和の日)、絶好のゴルフ日和となったグリーンヒルカントリークラブ市比野コースで開催されました。

総勢230名(うち女性5名)が県内外から集い、9期から66期という幅広い年齢層でその腕を競いました。ゴルフ場オープン時に10数名で始まったこの大会ですが、今回もエイジシュートを達成された方がいるなど毎年充実した大会となっています。

5月1日(月曜日)、大会会長から藤崎校長へ、宇都、古江両教頭、溝上事務局長の同席のもと、川内高校「体育文化後援会」へ競技者寄付が行われました。

団体戦

優勝 高24期

下八尻宏二、出水六男、春田俊一、牧山大助、奥野正博、園田成三、宮脇宏一、桐野秀樹、田中公博、岩崎善弘、永里広己
2位 高18期 3位 高32期 4位 高17期 5位 高21期

個人戦

優勝 下八尻 宏二(高24期)

2位 桑原宏志(高34期)
3位 松本 啓(高40期)
4位 小城尚文(高30期)
5位 松岡英司(高37期)



平成29年度 可愛山同窓会開催日程一覧

開催月日	同窓会名
6	3(土) 東京可愛山同窓会 東海大学校友会館 12時~15時
	11(日) 関西可愛山同窓会 道頓堀ホテル 12時~15時
7	1(土) 福岡可愛山同窓会 天神スカイホール 12時~15時
8	4(金) 可愛山同窓会本部 ホテルオートリ 18時30分~
	最終週の(金) 県庁可愛山会
10	第2土曜日 阿久根ガラッパ会
11	第3日曜日 熊本可愛山同窓会

ご寄付ありがとうございました。

(敬称略) 平成28年10月1日~平成29年4月30日まで

川内高校奨学会への寄付一覧

鹿児島可愛山同窓会	13,257円
時吉 寛 氏(高12期)	60,000円
川高19期卒後50年寄付	500,000円
山口 健一 氏(高20期)	100,000円

川内高校 体育文化後援会への寄付

OBゴルフ大会 会長	100,000円
------------	----------

可愛山同窓会本部・各支部役員名簿

平成29年5月

可愛山同窓会本部 0996-20-2031(FAX兼用)			
顧問	山田島 隼	高17期	
会長	中俣 知大	高20期	
副会長	岩下 晃治	高15期	
"	堂元 康二	高21期	
"	橋口 知章	高26期	
"	愛川 清	高31期	
"	羽田 美由紀	高33期	
書記	稲本剛一(教諭)	高42期	
監事	上村 健一	高24期	
"	西田 一彦	高26期	
事務局長	吉留 和男	高20期	

E-mail: s-enoyama@sgr.bbq.jp

関西可愛山同窓会			
会長	山口 健一	高20期	
副会長	村田 靖昭	高12期	
幹事長	※ 柚木 卓郎	高20期	
副幹事長	有馬 洋一	高21期	
会計監事	金生 佐代子	高25期	

※柚木 卓郎 (0745-32-5979)

宮崎可愛山同窓会			
会長	※ 寺田 豊作	高8期	
副会長	川野 融	高18期	
"	高崎 重満	高3期	
"	竹内 捷子	高3期	
事務局	村田 誠	高24期	

※寺田 豊作 (0985-48-2821)

東京可愛山同窓会			
名誉会長	橋口 英俊	高7期	
会長	桐原 保法	高17期	
副会長	皆吉 典子	高女28期	
"	久保 信行	高10期	
"	※ 尾曲 博司	高20期	
"	渡邊 泰久	高26期	
幹事長	※ 皆元 正幸	高24期	
副幹事長	徳丸 律	高21期	
"	末永 力男	高27期	
"	石上 さと子	高31期	
"	柏田 かおる	高40期	
"	宇都 正信	高44期	
"	入角 英樹	高46期	
"	山下 晋平	高55期	
会計	高城 尚子	高17期	
"	植村 健二	高28期	
監査	木下 公明	高6期	
"	山下 重孝	高22期	

※尾曲 博司 (090-4676-3674)

※皆元 正幸 (03-3265-5890)

熊本可愛山同窓会			
会長	小井出 精一	高17期	
代表幹事	※ 宮田 和正	高28期	
会計	穂 慶 睦子	高43期	

※宮田 和正 (096-343-2389)

※は各支部連絡者

福岡可愛山同窓会			
名誉会長	福留 久大	高12期	
会長	※ 新留 育郎	高17期	
副会長	上西 治志	高17期	
副会長	寺地 明子	高18期	
代表幹事	牧田 隆	高20期	
副代表幹事	寺脇 之博	高34期	
副代表幹事	羽子田 政則	高41期	
幹事	井上 哲	高20期	
"	田中 耕二	高21期	
"	紙屋 まり子	高24期	
"	影山 裕樹	高31期	
"	大山 健一郎	高47期	
"	大内田 佳純	高55期	
会計監事	園林 龍二	高17期	
顧問	北 孔介	高11期	
"	香月 揚子	高11期	
"	泰平 尚信	高13期	
"	西谷 和武	高14期	

※新留 育郎 (090-5472-4881)

阿久根ガラッパ会			
世話役	濱田 健二	高2期	
"	折田 康彦	高3期	
"	※ 林 勝次郎	高17期	

※林 勝次郎 (0996-72-2075)

鹿児島可愛山同窓会			
会長	小島 政利	高14期	
副会長	上拾石 紀行	高10期	
"	武田 恭孝	高14期	
"	石走 一行	高17期	
"	斎藤 義久	高19期	
"	米盛 まり子	高19期	
"	後藤 孝行	高20期	
"	愛田 涼子	高23期	
"	堀之内 隆	高22期	
顧問	上小嶋 貞子	高女28期	
"	桑畑 幸二	中47期	
"	橋本 幸雄	高3期	
"	児島 正憲	高5期	
"	安楽 満男	高12期	
事務局長	川畑 洋一	高27期	

※平石 征志 (県庁人事委員会 099-286-3904)

県庁可愛山会			
会長	川畑 洋一	高27期	
副会長	松元 良夫	高29期	
"	寺園 昌昭	高30期	
幹事長	宮園 博志	高33期	
幹事	大園 茂生	高33期	
"	原口 義明	高35期	
"	※ 平石 征志	高38期	
"(書記)"	※ 石走 健吾	高44期	
"	徳重 朋幸	高52期	
"	堅山 英之	高57期	
会計	福重 由香	高43期	

※石走 健吾 (県庁団体準備課 099-286-2869)

編集後記

川内高校創立百二十周年記念事業が具現化する中での会報発行となりました。例年、5月末の発行を今回早めたこととで寄稿をお願いした方々には多大なご負担をお掛けしました。昨年7月6日に創立記念事業実行委員会が発足し、橋口同窓会副会長が実行委員長となつて高校教職員・PTA、同窓会員で構成する実行部隊が動き出しております。本年10月28日(土)の記念式典に向けた各種事業を実りあるものにするため、全国の可愛山同窓会員の皆様には昨年10月末に募金のお願いに会報を同封して案内したところです。この7月末が募金締切日となっていますが、一般募金が目標額を大きく下回っているため、卒業期ごとの幹事様に再募金をお願いをしてもらっています。実行委員会も「募金の中間報告と再度のお願いを发出することにしており、これに併せて会報もお届けすることにになりました。」

(可愛山同窓会事務局 吉留和男)

現在の同窓職員

平成29年4月1日現在

事務次長	西 蘭	はるみ	(高39期)
理事	小原 堅一		(高36期)
理科	稲本 剛一		(高42期)
数学科	川原 浩学		(高48期)
英語	高味 浩		(高32期)
歴史	瀬戸口 忍		(高42期)
地体	西 祐太郎		(高62期)
保体	土器手 敬詞		(高65期)
保務	上馬場 安弘		(高30期)
事務	西田 一彦		(高26期)